

上体を左右に動かしながら、両腕を交互に上下に運動させる。

憤る 「怒る」と同じ手まね。

幼い 「赤子」「赤ちゃん」と同じ手まね

啞 右手の掌で耳を塞さざ、左手掌で口を塞さく。

伯父 父（或は母）の兄として表わす。

父（或は母）を手まねして、その親指（或は小指）に添えて左の男性（中指）をそれより少し高い目に上げる。

叔父 父（或は母）の弟。

父（或は母）に添えて男性（中指）をそれより少し低い目に下ろす。

教える 胸の前で右手の指頭を下にさした人差指を前へ二、三度往復させる。書物の文字の行を棒で追って教えることからか？指図の身振りか？

惜しむ（惜しい）五指の指頭を上にした

右手の掌を反対側の左頬に向け、忙しげに打つ（頬に触れぬように）真似をする。はらはらとした表情。「大切」「大事」にするの手まねにもなる。

惜しいことをした 「遺憾」と同じ手まね

和尚 片手で拝みながら、もう一方の手の人差指で木魚か鉦を叩つく真似をして一男性。

汚職 右手の人差指と親指で輪（金銭）をつくり、それを、左手の手首の下辺りから腕に添って下へ降して行く。袖口から金を袖に入れる身振り。「収賄」「贈賄」である。

遅い（遅れる）右手の指頭を下に向けた親指と人差指をまるく屈めて半円の形をつくり、それを胸の前左から右へ上に弧を描いて降して行く。遅々とした日足（太陽の動き）。恐れる 「案じる」と同じ手まね。

落ちぶれる 指頭を上にした親指の右手

を下降させて下腹部の前で左手の掌の上に置く。人の身分の下落した事。

夫 「夫婦」の手まねをして、男性(親指)を残しておいて一方の人差指で指す。

弟 「兄」と同じ前提があつて中指を腹部前辺りに下げる。

伽嘶、幼い——適する——話。

一昨日 「昨日」の要領で、二の数(中指と人差指)を超越しに後方へ押しやる。または「寝る——二つの過去」。

男 男性を表わす指は主として親指である。時には中指(この場合指の背は相手に；即ち掌は内側)で表わす場合がある。

「男たち」と複数で表わすには、両手の親指(指頭が上をさす)胸の前辺りで合わせ、両手の手首をクルクル動かして左右に離して行く。

一昨年 年——一つ——過去。

大人おとな

(イ) 掌を下に向けて五指を屈めた右手を右肩の上にかぶせるようにし、その手を上へ上へ上げて行く。背丈の高さを表わす。

(ロ) 「大」の文字を右手人差指で空間に書き、次に左手人差指と右手人差指を「人」の文字の形に組み合わせる。

劣るだだ (イ) 指頭を上にした親指の両手を前と手前に少しの間隔をおいて対立させ、両方をくらべるように互に上下に動かして、最後に手前の方の手を下にぐっと下げる。くらべて手前の方が劣ると云うことになる。(ロ) 「負ける」と同じ手まね。

踊る 両手を交互にしなよく動かして踊る身振りをすればよい。

衰える 握り拳をした手の腕の肘を、力こぶを見せるように曲げ(「勢」「力」の手まね)てから、その腕をぐんやりと力なく下に垂らす。